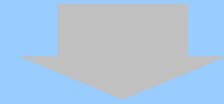


東京電力グループ中期経営方針「経営ビジョン2010」の概要

グループ経営理念

エネルギーの最適サービスを通じて豊かな生活と快適な環境の実現に貢献する



グループ経営指針

東京電力グループは、この経営理念を掲げ、次の3つのグループ経営指針に沿って「エネルギー・サービスのトップランナー」を目指す

第1の経営指針 「社会の信頼を得る」

競争市場への参加資格は、社会のみなさまからいただく「信頼」である。

確固たる「信頼」を獲得するために、

- ・全ての業務を「企業倫理に関する行動基準」に従って行い、よりよい環境づくりなど、企業の社会的責任を誠実に果たす。
- ・全ての職場で、業務やサービスの品質を着実に高める。
- ・「安全最優先」の意識を徹底し、「世界トップレベルの安全・安心な会社」を目指す。

第2の経営指針 「競争を勝ち抜く」

当社グループの喜びは、お客さまの「満足」である。

お客さまの「満足」を獲得するために、

- ・当社グループは一体となって、お客さまニーズを敏感に察知し、お客さまに選ばれ続けるエネルギーの最適サービスを提供する。
- ・コストダウンと企業体質強化に取り組み、競争力を高め、収益力の向上と事業発展を目指す。
- ・「情報通信」、「エネルギー・環境」、「住環境・生活」、「海外」の4分野で新事業を推進し、グループ全体としての持続的成長を確保する。

第3の経営指針 「人と技術を育てる」

当社グループの未来を切り拓くのは、「人と技術」である。

「人と技術」の力で変革し続けるために、

- ・階層間、組織間、グループ内外を問わずコミュニケーションを活発にし、職場の活力と一人ひとりの働きがいを高める。
- ・社員の技術・技能の維持・強化に努め、日常の業務革新と効率化に挑戦する。
- ・社会の信頼獲得、競争力強化・事業発展に役立つ技術課題に挑戦する。

数値目標2010

業務効率改善目標

「設備安全・品質確保を大前提に、業務効率を2003年度比で20%以上改善」

財務体質改善目標

「株主資本比率25%以上を達成」

事業の成長目標 - 販売電力量の開拓

2004年の離脱需要の2倍に相当する、
「100億kWh以上の販売電力量を開拓」

事業の成長目標 - 電気事業以外の売上高・営業利益

電気事業における売上高・営業利益の1割以上に相当する、
「電気事業以外の売上高^(注1) 6,000億円以上、
電気事業以外の営業利益^(注2) 600億円以上を確保」

(注1) 連結子会社・附帯事業の外部顧客に対する売上高の合計

(注2) 連結子会社・附帯事業の営業利益の合計

地球環境貢献目標

「CO₂排出原単位を1990年度比で20%削減」

行動原則

- 行動原則1 「感じる」 : お客さまの心、設備の声を敏感に感じとる
- 行動原則2 「考える」 : 相手を思いやり、何ができるか深く考える
- 行動原則3 「実践する」 : 決めたら、責任を持ってすぐ実践する